



長 丘 っ 子

中野市立 長丘小学校

〒383-0061 長野県中野市壁田 1572
TEL 0269-22-3642 FAX 0269-22-8347
mail nagaoka@nakano-ngn.ed.jp
HP <http://nagaoka.nakano-ngn.ed.jp>

平成24年8月23日(木)
学校だより No.6



二学期が始まりました 山崎校長先生のお話より

25日間の夏休みが終わり、二学期が始まりました。久しぶりに見た子どもたちは、日焼けした笑顔と元気いっぱいの姿。猛暑はまだまだ続きますが、張り切ってスタートすることができました。

今年の夏休みの前半はロンドンオリンピックに日本中がわきました。日本は38個のメダルを取り、多くの種目で大活躍しました。初のメダル、久しぶりのメダルという競技が多かったですね。

48年ぶりにボクシングミドル級で金メダルを取った村田選手、アテネオリンピック以来20年ぶりの銀メダルを取ったアーチェリーの古川選手、バドミントン女子ダブルス初の銀メダルとなった藤井選手、垣岩選手・・・。

団体種目での活躍も多かったです。体操団体、サッカーのなでしこジャパン。卓球団体女子初の銀メダル。競泳でも男女の400メートルメドレーリレー、バレーボールでは女子が28年ぶりにメダルを獲得しました。この他にもたくさんの選手のみなさんの活躍がありました。

東日本大震災に苦しむ日本のことを胸に活躍した選手も多かったようです。卓球の福原愛さんは仙台市出身。練習の傍ら避難所も訪問し支援をしたそうです。メダルを持ち帰ってみんなに喜んでもらいたいという思いが通じたのだと思います。初のフェンシング団体銀メダルに輝いた千田健太選手は、宮城県気仙沼市出身。幼なじみを津波で失いました。よい仲間と巡り会い、初のメダル獲得で被災地の人たちを勇気づけました。

日本選手団の旗手を務めたレスリングの吉田沙保里選手は、オリンピック3覇という輝かしい記録を打ち立てました。しかし、過去2回のオリンピックと違って今回のオリンピックは試合前、負けるかも知れないと不安で寝られなくなることもあったそうです。それは5月のワールドカップでロシアの選手に4年ぶりに負けたことから始まっていました。今までのように勝てない不安。しかし、その中でコーチとともにレスリングを研究し練習し「賢いレスリング」を身につけました。吉田選手は言っています。

「負けを知って、いろんなことを勉強させてもらって気づかされました。勉強したことやいいことはどんどん自分の中に取り入れて、(そして)また、いつか負けることがあったら(また)勉強して、その繰り返しで人は賢くなっていくと思う。」「負けを知ってまた強くなれたかなと思う」吉田選手のように困難や悔しさ、失敗を乗り越えて強くなり、活躍した選手は他にもたくさんいました。あきらめず、目標を持って勉強し続けることでこれを乗り越え、賢く、強くなっていった選手たちがたくさんいたのです。私たちが遊びや試合、勉強で負けたり、失敗したり、間違えたりすることがたくさんあります。そんなとき、悔しさや恥ずかしさから人に文句を言ったり、何かやらなかったり、黙ってしまったり、あきらめたりします。吉田選手のように勇気を持ってあきらめずにチャレンジし、勉強をして失敗を乗り越え賢くなっていきたいですね。

二学期も①自分からすすんで挨拶しましょう。

②友達のよいところをみつけましょう。そして伝えてあげましょう。

③他の人の話をしっかり聞き、自分の気持ちや考えを
しっかり話せるようにしましょう。

ひとつ残念なことですが、夏休み中に長丘で交通事故がありました。幸いなことに事故にあった人は、大分回復して元気になりました。普段みなさんが登下校している道路での事故でした。二学期は全校の人が油断することなく、生活の決まりや交通ルールをきちんと守り、事件や事故に遭わないようにしましょう。そして、みんなの力で楽しい学校生活を送りましょう。



長丘小風力発電機完成式

長丘小学校に新たな風力発電機が完成したことを祝い、完成式が行なわれました。ご来賓には、小田切治世市長、武田玄佐雄建設委員長、山岸國広市議員、黒川達也PTA会長、土屋正志教育委員長、高橋智美教育委員をお迎えしました。

最初に学校長より、校舎改築当時に風力発電機があったことが紹介され、新しい風力発電機を学習に役立て大切にしていきたいとのあいさつがありました。

小田切市長様からは、長丘に送電されている電気がどこからきているか説明していただき、原子力発電のことも含め、今後の私たちの電力供給のあり方を考えていくことの重要性についてお話しいただきました。

武田建設委員長様からは、再び長丘を象徴する風力発電機が設置されたことを祝うお祝辞の言葉をいただきました。

ご来賓のごあいさつのあと、市長、建設委員長、市議員、PTA会長、学校長、児童会長の6名による点灯式を行ないました。全校児童の「3、2、1」の掛け声とともに6個のLEDランプのスイッチが押されました。

最後に湯本鈴花さんから児童を代表してお礼の言葉を伝え、完成式終了となりました。

みなさまも学校へおいでの際には、校門左手にある風力発電機をご覧ください。この鉄塔部には夜間6時間設定された屋外灯も取り付けられています。この風力発電機を新たな長丘小学校のシンボルとして大切にしていきたいと思えます。

新風力発電機設置までの経緯

- ・平成13年度校舎改築の際に地元建設委員会の願いを受け、新幹線保障工事として風力発電機が設置された。ローター直径2.7m、出力1.5kw発電の大型風力発電機は長丘小のみならず地域のシンボルとして親しまれてきた。
- ・平成18年3月、風車の安全点検を行ったところ、異常振動が発生していることがわかり、支柱からローターおよび本体部分を外して点検を行ったところ、シャフトボルトの破損、本体ベアリングの摩耗等が見つかる。再稼働が望まれていたが修理費用が多額であること等から見合せていた。
- ・本年度、公益財団法人中部圏社会経済研究所グリーン電力基金センター「中部グリーン電力基金助成」もいただきながら、新規ハイブリッド(0.4kw風力発電とソーラー発電兼用)風力発電機の設置に至る。工事者は(有)テック、工事期間は平成24年7月9日～8月10日まで。

